

2018年度
決算IR資料
2019年5月9日



本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

内容

I. 2018年度 連結決算概況	
1. 収支の状況	P3
2. 財務の状況	P13
3. 資源セグメントの状況	P17
II. 2019年度 連結業績予想（第11次中期3カ年計画の2年目）	
1. 2018年度比較	P18
2. 上期・下期比較	P21
3. 一株当たり情報	P23
4. 株主還元の考え方	P24
5. 感応度	P25
III. 第11次中期3カ年計画フォローアップ	P26
1. 生産目標達成状況	P28
2. 市況メインシナリオを前提とした収支計画	P29
IV. 資源事業個別プロジェクトの状況	
1. エンデバー鉱山	P28
2. 豪州西オーストラリア州Abra鉛鉱山	P28
(参考資料)	
1. 主要製品の用途	P30
2. 主要製品の売上の推移（連結）	P31
3. 世界の亜鉛・鉛の需給推移	P32
4. 国内の亜鉛・鉛の需給推移	P33
5. メタルの価格と在庫の推移	P34
6. 亜鉛・鉛の鉱石輸入と国内需要	P36
7. 製錬業界における当社の位置	P37

I. 2018年度 連結決算概況

1. 収支の状況

(1)総括

コア事業の製錬セグメントが、在庫評価損の実現や買鉱条件悪化等により大幅な赤字になったことに加え、CBH社エンデバー鉱山の操業不調、及び金属相場の前低下・採掘計画の見直しに伴うエンデバー鉱山の減損計上（43.4億円）もあり、23.8億円の最終赤字となりました。

○2/8公表比較

Q4での相場回復もあり、営業利益・経常利益とも黒字を確保しました。

○前期比較

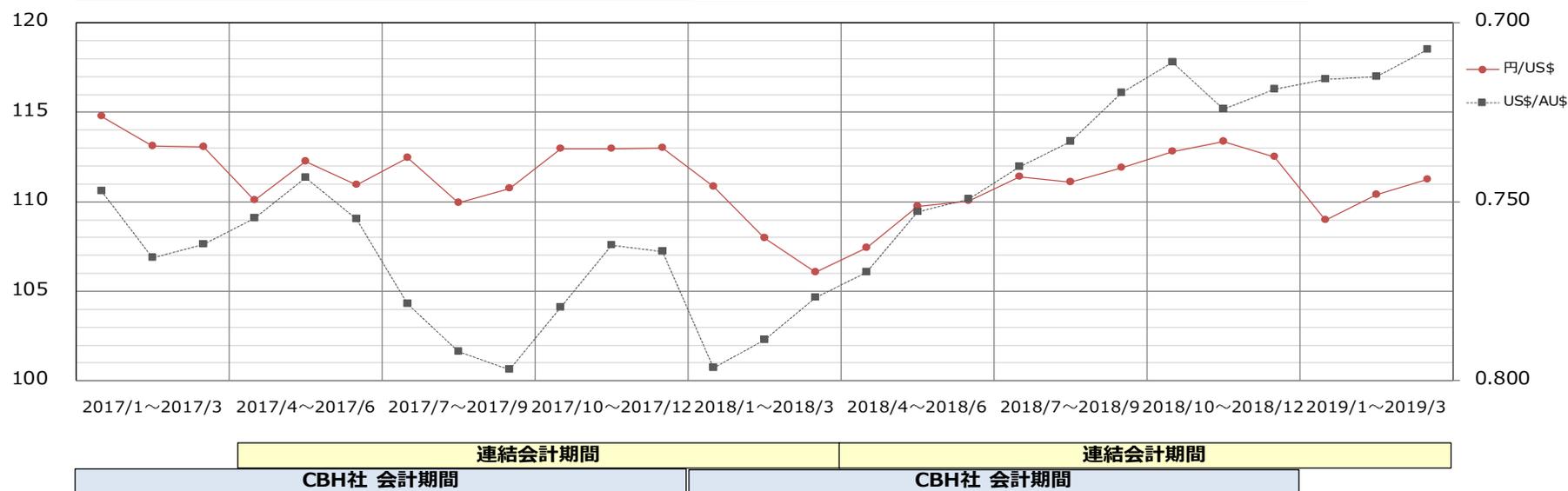
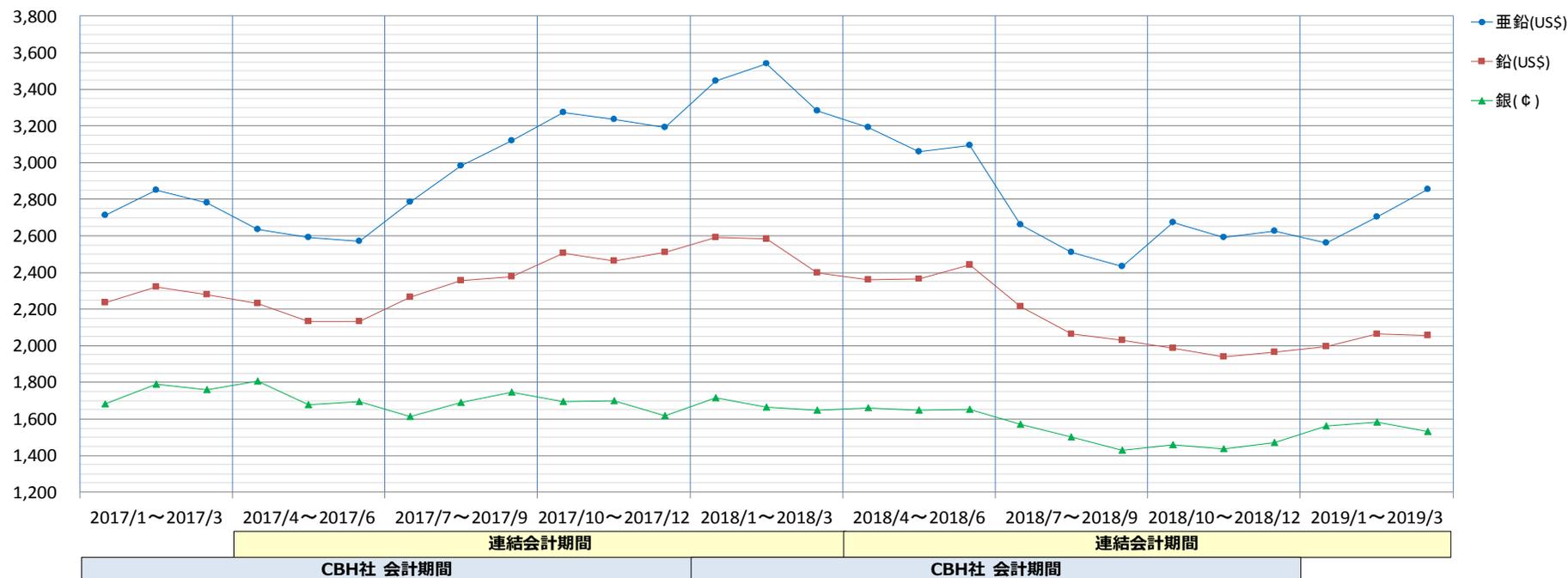
営業利益は7.6億円と黒字を確保したものの、123.4億円の大幅減益となりました。うち減益幅の6割を製錬セグメントが占めますが、市況要因以外では、在庫評価損益・買鉱条件の悪化、加工費の負担増、西日本豪雨の影響や銀の出荷減等が影響しました。減益幅の残り4割はほぼ資源セグメントに帰しますが、市況要因以外では、エンデバー鉱山の生産性の悪化が響きました。純利益は、金属相場の下振れや採掘計画の見直し等の理由よりエンデバー鉱山で減損を計上したこともあり、127.5億円の減益となりました。

(単位:億円)

	2017年度実績	2018/5/10 通期業績当初計画	2018/10/23 通期業績修正 (1回目)	2019/2/8 通期業績修正 (2回目)	2018年度実績
連結売上高	1,336	1,370	1,210	1,180	1,176
連結営業利益	131.0	110.0	13.0	△6.0	7.6
連結経常利益	131.6	108.0	20.0	0.0	12.0
連結純利益	103.7	93.0	21.0	△35.0	△23.8

1. 収支の状況

(2) 市況推移



1. 収支の状況

(3)第4Qの状況(市況・生産量)

		第3Q累計 (A)	第4Q (B)	2018年度実績 (A+B)	
市況	亜鉛(米\$/t)	2,759	2,704	2,746	
	鉛(米\$/t)	2,151	2,037	2,122	
	銀(米\$/toz)	15.4	15.6	15.4	
	円/米\$	111.1	110.2	110.9	
	米\$/豪\$	0.760	0.718	0.745	
製錬セグメント 主要製品生産量	亜鉛製品(千t)	74.9	24.3	99.2	
	鉛製品(千t)	69.6	17.2	86.8	
	電気銀(t)	236	46	282.3	
資源セグメント CBH社関連	粗鉱処理量 (千t)	エンデバー	470	175	646
		ラスプ	558	179	737
		計	1,028	355	1,383
	亜鉛精鉱生産量 (千dmt)	エンデバー	38.8	14.2	53.0
		ラスプ	42.8	17.2	60.0
		計	81.6	31.4	113.0
	鉛精鉱生産量 (千dmt)	エンデバー	20.7	7.1	27.8
		ラスプ	22.4	10.2	32.6
		計	43.1	17.3	60.4

1. 収支の状況

(4)第4Qの状況(収支)

		第3Q累計 (A)	第4Q (B)	2018年度実績 (A+B)
売上高(億円)		903	273	1,176
営業利益(億円)	製錬	△26.5	△12.7	△39.2
	資源	12.2	12.7	24.9
	電子部材	4.4	1.4	5.9
	環境・リサイクル	9.5	3.7	13.3
	その他	△2.8	1.4	△1.4
	調整額	2.7	1.4	4.2
	計	△0.4	8.1	7.6
経常利益(億円)		3.9	8.1	12.0
純利益(億円)		△22.7	△1.1	△23.8
EBITDA(億円)		76.1	35.0	111.2

1. 収支の状況

(5)2019/2/8公表比較

		2019/2/8 公表ベース (A)	2018年度実績 (B)	差 (B)-(A)
売上高(億円)		1,180	1,176	△4
営業利益(億円)	製錬	△42.0	△39.2	2.8
	資源	17.0	24.9	7.9
	電子部材	6.0	5.9	△0.1
	環境・リサイクル	12.0	13.3	1.3
	その他	△2.0	△1.4	0.6
	調整	3.0	4.2	1.2
	計	△6.0	7.6	13.6
経常利益(億円)		0.0	12.0	12.0
純利益(億円)		△35.0	△23.8	11.2
EBITDA(億円)		95.9	111.2	15.2

1. 収支の状況

(6)前期比較(市況・生産量)

		2017年度実績	2018年度実績	差(実額)	差(%)	
市況	亜鉛(米\$/t)	3,054	2,746	△309	△10	
	鉛(米\$/t)	2,379	2,122	△256	△11	
	銀(米\$/toz)	16.9	15.4	△1.5	△9	
	円/米\$	110.9	110.9	0.1	0	
	米\$/豪\$(1-12月)	0.775	0.745	△0.030	△4	
製錬セグメント 主要製品 生産量	亜鉛製品(千t)	100.7	99.2	△1.5	△1	
	鉛製品(千t)	92.8	86.8	△6.0	△6	
	電気銀(t)	336	282	△54	△16	
資源セグメント CBH社関連(1-12月)	粗鉱処理量 (千t)	エンデバー	437	646	209	48
		ラスプ	703	737	35	5
		計	1,139	1,383	244	21
	亜鉛精鉱生産量 (千dmt)	エンデバー	47.9	53.0	5.2	11
		ラスプ	54.3	60.0	5.7	10
		計	102.2	113.0	10.8	11
	鉛精鉱生産量 (千dmt)	エンデバー	26.7	27.8	1.1	4
		ラスプ	26.2	32.6	6.4	25
		計	52.9	60.4	7.5	14

1. 収支の状況

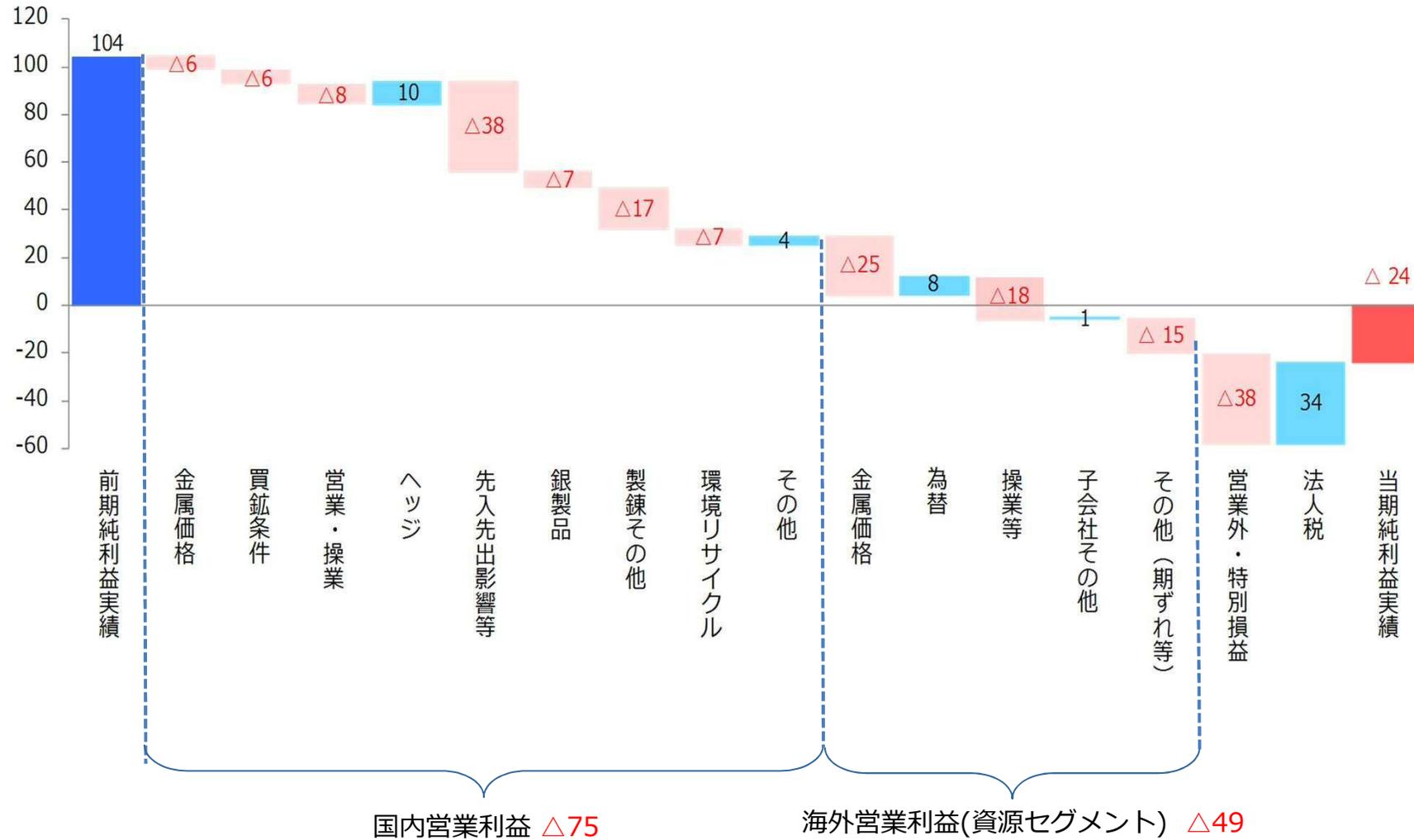
(7)前期比較(収支)

			2017年度実績	2018年度実績	差(実額)	差(%)
収支	売上高(億円)	製錬	957	822	△135	△14
		資源	257	231	△26	△10
		電子部材	62	59	△3	△5
		環境・リサイクル	54	47	△7	△13
		その他	120	101	△19	△16
		調整額	△113	△84	29	—
		計	1,336	1,176	△161	△12
	営業利益(億円)	製錬	33.3	△39.2	△72.5	—
		資源	73.5	24.9	△48.6	△66
		電子部材	5.6	5.9	0.3	5
		環境・リサイクル	20.1	13.3	△6.8	△34
		その他	8.5	△1.4	△9.9	—
		調整額	△9.9	4.2	14.1	—
		計	131.0	7.6	△123.4	△94
	経常利益(億円)		131.6	12.0	△119.6	△91
	純利益(億円)		103.7	△23.8	△127.5	—
	EBITDA(億円)		189.8	111.2	△78.7	△41

1. 収支の状況

(7)前期比較(収支)

単位：億円



1. 収支の状況

(8)四半期単位比較(市況・生産量)

2018年度		Q1実	Q2実	Q3実	Q4実	累計	
市況	亜鉛(米\$/t)	3,114	2,534	2,630	2,704	2,746	
	鉛(米\$/t)	2,387	2,102	1,964	2,037	2,122	
	銀(米\$/toz)	16.5	15.0	14.5	15.6	15.4	
	円/米\$	109.1	111.5	112.9	110.2	110.9	
	米\$/豪\$	0.786	0.774	0.760	0.745	0.745	
製錬セグメント 主要製品生産量	亜鉛製品(千t)	27.0	20.8	27.2	24.3	99.2	
	鉛製品(千t)	25.1	19.7	24.8	17.2	86.8	
	電気銀(t)	92	60	84	46	282	
資源セグメント CBH社関連	粗鉱処理量 (千t)	エンデバー	143	148	179	175	646
		ラスプ	177	190	190	179	737
		計	320	338	370	355	1,383
	亜鉛精鉱生産量 (千dmt)	エンデバー	12.9	12.2	13.7	14.2	53.0
		ラスプ	12.6	15.3	14.9	17.2	60.0
		計	25.5	27.6	28.5	31.4	113.0
	鉛精鉱生産量 (千dmt)	エンデバー	6.9	6.1	7.7	7.1	27.8
		ラスプ	5.8	7.8	8.8	10.2	32.6
		計	12.7	14.0	16.5	17.3	60.4

1. 収支の状況

(9)四半期単位比較(収支)

2018年度		Q1実績	Q2実績	Q3実績	Q4実績	通期実績	
売上高(億円)		307	278	318	273	1,176	
営業利益 (億円)	製錬	内、先入先出影響等	4.1	△39.6	9.0	△12.7	△39.2
		内、ヘッジ	3.5	△38.1	2.9	8.7	△23.1
		資源	2.5	8.9	2.3	△2.8	10.9
	電子部材	1.5	△3.5	14.2	12.7	24.9	
	環境・リサイクル	1.5	1.6	1.4	1.4	5.9	
	その他	5.3	2.6	1.7	3.7	13.3	
	調整	1.4	△0.5	△3.8	1.4	△1.4	
	計	2.2	1.9	△1.4	1.4	4.2	
経常利益(億円)		16.0	△37.5	21.1	8.1	7.6	
純利益(億円) *		15.7	△35.0	23.2	8.1	12.0	
EBITDA(億円)		12.2	△24.8	△10.2	△1.1	△23.8	

* CBHエンデバー鉱山減損：Q3→△30.9億円、Q4→△12.5億円

(ご参考)

2017年度	Q1実績	Q2実績	Q3実績	Q4実績	通期累計
売上高(億円)	288	351	377	320	1,336
営業利益(億円)	8.8	54.6	51.7	16.0	131.0
経常利益(億円)	9.5	54.0	51.0	17.0	131.6
純利益(億円)	7.4	40.1	41.7	14.5	103.7

2. 財務の状況

(1)貸借対照表(資産の部)

単位：億円

			2018年3月末 実績	2019年3月末 実績	差(実額)
流動資産	現金・預金		138	102	△36
	受取手形・売掛金		201	163	△38
	たな卸資産		419	426	7
	その他		19	41	22
	計		778	732	△46
固定資産	有形固定資産		409	389	△20
		内CBH社関係 (豪\$百万表示)	96	75	△21
	無形固定資産		(109)	(96)	(△13)
		内CBH社関係	125	119	△6
		(豪\$百万表示)	124	118	△6
	投資その他		(141)	(151)	(10)
	計		60	64	4
計		595	572	△23	
資産 合計			1,373	1,304	△69

2. 財務の状況

(1)貸借対照表(負債・純資産の部)

単位：億円

			2018年3月末 実績	2019年3月末 実績	差(実額)
負債の部	支払手形・買掛金		77	71	△6
	有利子負債	CP	80	110	30
		短期借入金	115	118	3
		長期借入金	332	300	△32
		有利子負債計	526	528	2
	その他負債		145	148	3
	計		749	747	△2
純資産の部	株主資本	資本金	146	146	0
		資本剰余金・自己株式	98	98	0
		利益剰余金	252	213	△39
		株主資本計	497	456	△41
	その他包括利益累計額		127	100	△27
	計		624	556	△68
負債・純資産 合計		1,373	1,304	△69	

2. 財務の状況

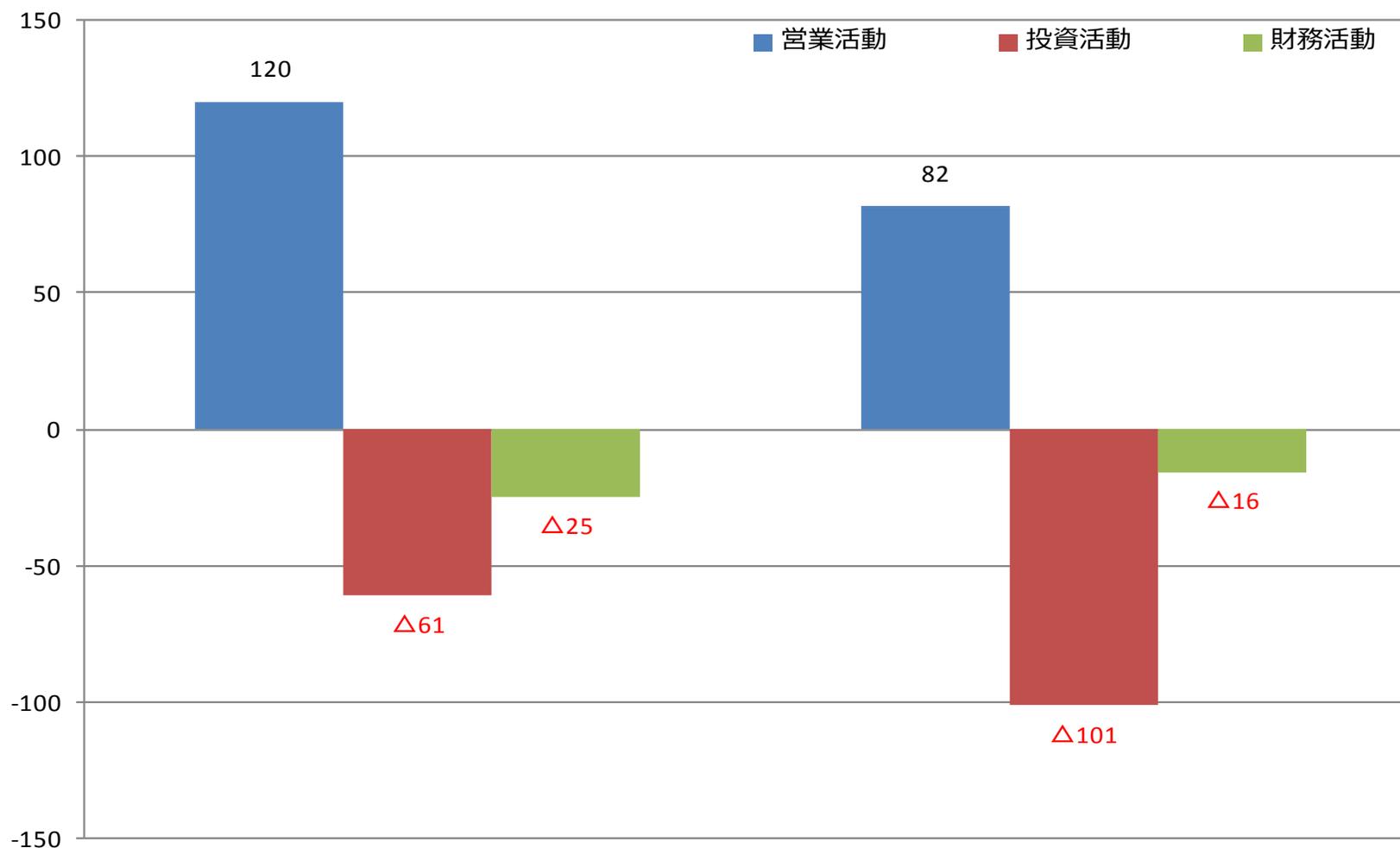
(2)主要財務指標の変化

	2017年度	2018年度	評価
自己資本比率	45.2%	42.8%	悪化
D/Eレシオ	0.8倍	0.9倍	若干悪化
D/EBITDAレシオ (年換算)	2.8倍	4.8倍	大幅悪化
純利益/自己資本(ROE) (年換算)	18.1%	△4.0%	大幅悪化
純利益/売上高	7.8%	△2.0%	大幅悪化
売上高/総資産	1.0回転	0.9回転	若干悪化
総資産/自己資本	2.4倍	2.2倍	レバレッジ減少

2. 財務の状況

単位：億円

(3) キャッシュ・フローの推移



() 内はフリーCF

2017年度実績 +34 (+59)

2018年度実績 △35 (△19)

3. 資源セグメントの状況

前期比△48.6億円

⇒内、CBH社営業利益△33.9億円

(内、市況等他律要因△16.1億円)

①エンデバー鉱山

前期比△23.0億円(内、市況等他律要因△6.8億円)

他律要因を除くと△16.2億円の減益

⇒岩盤強度など想定を超えた採掘条件の悪化による採掘数量の減少と鉱石品位の低下

②ラスプ鉱山

前期比△11.9億円(内、市況等他律要因△9.3億円)

他律要因を除くと△2.6億円の減益⇒出荷減などもあり若干の減益

③その他（期ずれ等）

前期比△14.7億円⇒期ずれ調整△9.7億円等

利益(億円)		2017年度実績	2018年度実績	差(実額)
CBH社営業利益	エンデバー鉱山	30.6	7.7	△23.0
	ラスプ鉱山	34.2	22.3	△11.9
	子会社その他	1.4	2.4	1.0
	計	66.2	32.4	△33.9
その他（期ずれ等）		7.3	△7.5	△14.7
資源セグメント利益		73.5	24.9	△48.6

Ⅱ. 2019年度 連結業績予想（第11次中期3カ年計画の2年目）

1. 2018年度比較

(1)2018年度比較（市況・生産量）

		2018年度実績	2019年度前提	差(実額)	差(%)	
市況	亜鉛(米\$/t)	2,746	2,700	△46	△2	
	鉛(米\$/t)	2,122	2,000	△122	△6	
	銀(米\$/toz)	15.4	16.0	0.6	4	
	円/米\$	110.9	109.0	△1.9	△2	
	米\$/豪\$(1-12月)	0.745	0.725	△0.020	△3	
製錬セグメント 主要製品生産量	亜鉛製品(千t)	99.2	99.1	△0.1	0	
	鉛製品(千t)	86.8	93.0	6.2	7	
	電気銀(t)	282	265	△17	△6	
資源セグメント CBH社関連(1-12月)	粗鉱処理量 (千t)	エンデバー	646	157	△488	△76
		ラスプ	737	726	△11	△2
		計	1,383	883	△499	△36
	亜鉛精鉱生産量 (千dmt)	エンデバー	53.0	12.3	△40.7	△77
		ラスプ	60.0	70.9	10.9	18
		計	113.0	83.2	△29.8	△26
	鉛精鉱生産量 (千dmt)	エンデバー	27.8	5.5	△22.3	△80
		ラスプ	32.6	31.6	△1.0	△3
		計	60.4	37.1	△23.3	△39

1. 2018年度比較

(1) 2018年度比較(収支)

		2018年度実績	2019年度予想	差(実額)	差(%)
売上高(億円)		1,176	1,060	△116	△10
営業利益(億円)	製錬 *1	△39.2	13.0	52.2	—
	資源	24.9	10.0	△14.9	△60
	電子部材	5.9	7.0	1.1	19
	環境・リサイクル	13.3	16.0	2.7	21
	その他	△1.4	6.0	7.4	—
	調整額	4.2	△6.0	△10.2	—
	計	7.6	46.0	38.4	504
経常利益(億円)		12.0	46.0	34.0	283
純利益(億円) *2		△23.8	30.0	53.8	—
EBITDA(億円)		111.2	103.4	△7.8	△7

*1 : 内、在庫評価損益

2018年度実績 △12.3億円 (内、先入先出等△23.1億円)

2019年度予想 △3.6億円

*2 : 内、CBHエンデバー鉱山減損

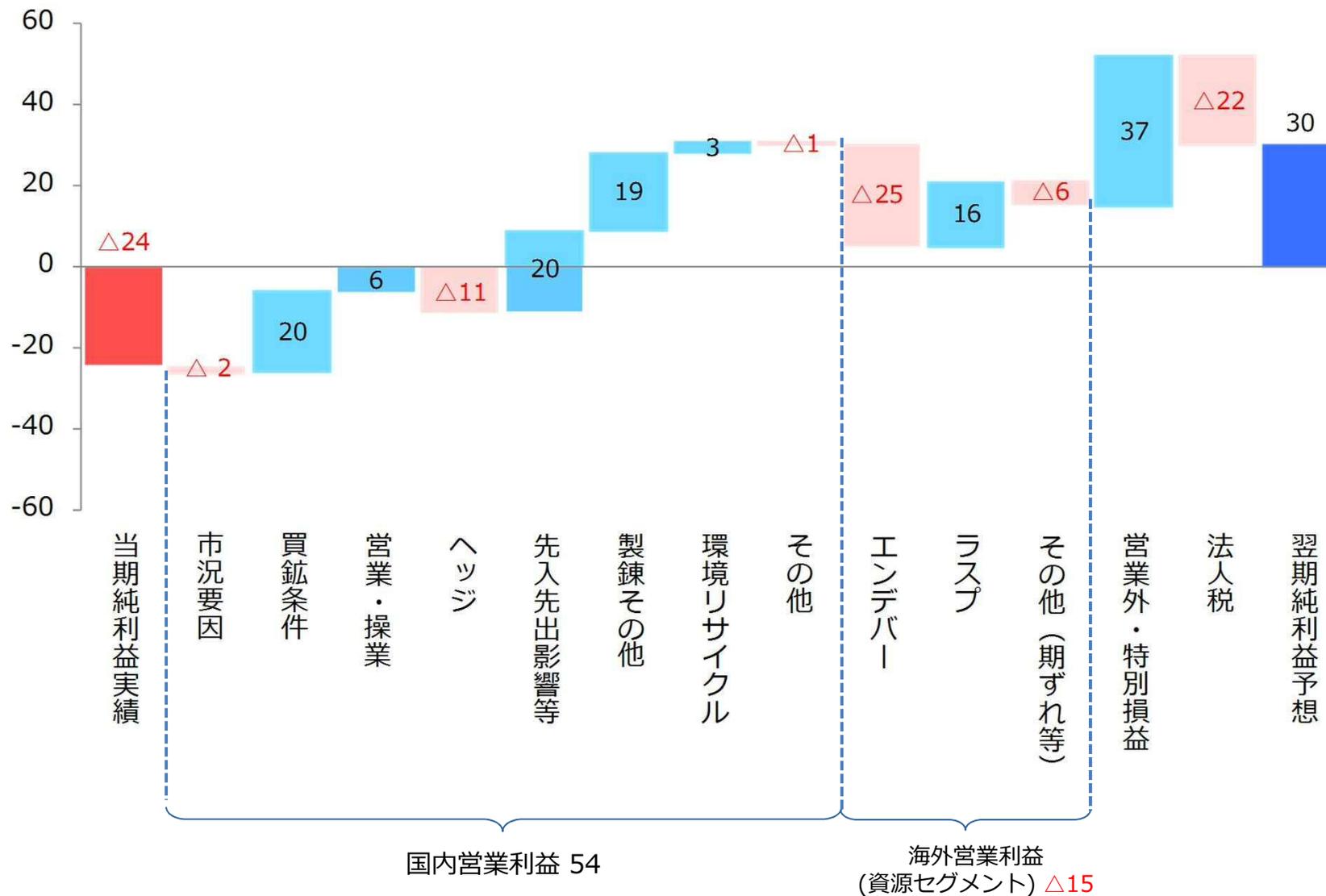
2018年度実績 △43.4億円

2019年度予想 △3.3億円 (Q1)

1. 2018年度比較

(1)2018年度比較(収支)

単位：億円



2. 上期・下期比較

(1) 上期・下期比較(市況・生産量)

		2019年度上期予想	2019年度下期予想	差(実額)	差(%)	
市況	亜鉛(米\$/t)	2,700	2,700	0	0	
	鉛(米\$/t)	2,000	2,000	0	0	
	銀(米\$/toz)	16.0	16.0	0.0	0	
	円/米\$	109.0	109.0	0.0	0	
	米\$/豪\$(1-12月)	0.725	0.725	0.000	0	
製錬セグメント 主要製品生産量	亜鉛製品(千t)	47.5	51.6	4.1	9	
	鉛製品(千t)	49.2	43.8	△5.4	△11	
	電気銀(t)	132	133	1	1	
資源セグメント CBH社関連(1-12月)	粗鉱処理量 (千t)	エンデバー	157	0	△157	△100
		ラスプ	362	364	3	1
		計	519	364	△154	△30
	亜鉛精鉱生産量 (千dmt)	エンデバー	12.3	0.0	△12.3	△100
		ラスプ	32.3	38.6	6.4	20
		計	44.6	38.6	△6.0	△13
	鉛精鉱生産量 (千dmt)	エンデバー	5.5	0.0	△5.5	△100
		ラスプ	14.6	17.1	2.5	17
		計	20.0	17.1	△3.0	△15

2. 上期・下期比較

(2)上期・下期比較(収支)

		2019年度上期予想	2019年度下期予想	差(実額)	差(%)
売上高(億円)		515	545	30	6
営業利益(億円)	製錬 * 1	2.0	11.0	9.0	450
	資源	△8.0	18.0	26.0	-
	電子部材	4.0	3.0	△1.0	△25
	環境・リサイクル	8.0	8.0	0.0	0
	その他	3.0	3.0	0.0	0
	調整額	△5.0	△1.0	4.0	-
	計	4.0	42.0	38.0	950
経常利益(億円)		6.0	40.0	34.0	567
純利益(億円) * 2		△3.0	33.0	36.0	-
EBITDA(億円)		32.7	70.7	38.0	116

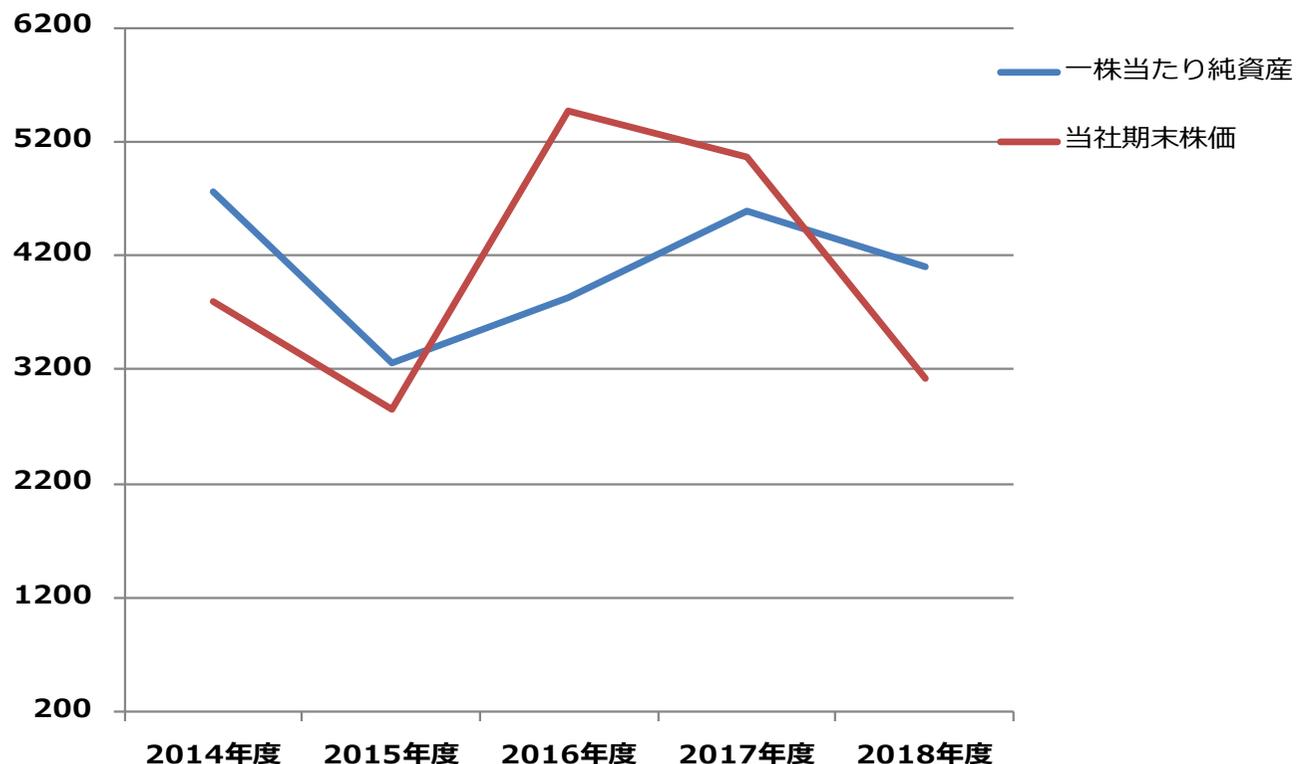
* 1 : 内、在庫評価損益

上期予想	△0.2億円
下期予想	3.6億円

* 2 : 内、CBHエンデバー鉱山減損損失

上期予想	△3.3億円(Q1)
下期予想	- 億円

3. 一株当たり情報



	2014年度 実績	2015年度 実績	2016年度 実績	※2017年度 実績	2018年度 実績	2019年度 予想
EPS (円)	20.20	△119.45	64.91	763.94	△175.55	220.94
DPS (円)	7	5	10	125	70	100
PER (倍)	18.76	-	8.41	6.62	-	N/A
PBR (倍)	0.80	0.88	1.43	1.10	0.76	N/A

※
2017/10に10株⇒1株の株式併合を実施しました。EPS・DPSについては、2016年度までは併合前、2017年度以降は併合後となっております。なお、上段の一株当たり純資産と株価のグラフについては、比較可能性を考慮して、2016年度以前についても併合の影響を考慮して作成しております。

4. 株主還元の考え方

- 今後、西豪州Abra鉛鋳山案件による借り入れ増で、現状のD/Eレシオ、有利子負債/EBITDAレシオ等の悪化が予想されます。一定の財務健全性を前提とすると、自己株式の買取の実行は困難な状況にあります。したがって、株主還元＝現金配当となります。
- 当社は相場影響を大きく受ける収益構造故、従来より、業績のブレに係らず（配当性向に係らず）可能な限り安定配当政策を続けてまいりました。2019年度もその方針に変更はございません。
- 中期経営計画の柱である資源投資に対しては、本来は内部留保による対応が望ましく、現金配当の抑制も一つの選択肢ではあります。一方で、当社の損益見込みそのものが市況に左右されるため、再投資のための内部留保か現金配当かという選択においては、一定の現金配当水準を市場が要求しているのも事実であります。
- 以上の観点から、2018年度は赤字決算で@70円配当をしたことにも鑑み、2019年度は@100円配当と対応させていただきたく、ご理解をお願い申し上げます。

5.感応度

	変動幅	2018年度試算		2019年度試算		増減	
		連結営業利益影響額	内CBH	連結営業利益影響額	内CBH	連結営業利益影響額	内CBH
亜鉛	\$10 / t	¥50百万	¥34百万 (豪\$410千)	¥56百万	¥40百万 (豪\$500千)	+¥6百万	+¥6百万 (+豪\$90千)*
鉛	\$10 / t	¥28百万	¥23百万 (豪\$280千)	¥33百万	¥28百万 (豪\$360千)	+¥5百万	+¥5百万 (+豪\$80千)*
円/米\$	1円 / 米\$	¥64百万	-	¥64百万	-	¥0百万	-
米\$/豪\$	1 / %	豪\$3.7百万	同左	豪\$2.8百万	同左	△豪\$0.9百万	同左

円換算は79.0円/豪\$を使用

* 2018年度は年内精鉱生産量の1/3につき、キャップとフロアーを固定したオプションを契約しており、市況感応度はキャップ・フロアー内の市況を前提としたが、2019年度はこのような影響がないために影響額が増加した。

Ⅲ. 第11次中期3カ年計画フォローアップ

1. 生産目標達成状況

			目標					
			2018年度		2019年度		2020年度	
			中計	実績	中計	予想	中計	
カソード亜鉛生産量(千t)			101	99	101	94	101	
鉛電解製品生産量(千t)			93	87	93	93	93	
銀製品生産量(t)			320	282	320	265	320	
CBH精鉱生産量 (千dmt)	Zn	エンデバー	60	53	64	12	83	
		ラスプ	63	60	63	71	61	
		計	123	113	127	83	145	
	Pb	エンデバー	29	28	24	5	8	
		ラスプ	31	33	37	32	30	
		計	60	60	61	37	38	

(上記生産に伴う投資状況)

	目標					
	2018年度		2019年度		2020年度	
	中計	実績	中計	予想	中計	
国内(億円)	35	28	33	29	29	
CBH(百万豪\$)	84	90	64	91	60	

2.市況メインシナリオを前提とした収支計画

(1)市況メインシナリオ

	メインシナリオ					
	2018年度		2019年度		2020年度	
	中計	実績	中計	前提	中計	
亜鉛(米\$/t)	3,200	2,746	3,200	2,700	3,200	
鉛(米\$/t)	2,400	2,122	2,400	2,000	2,400	
銀(米\$/toz)	17	15	17	16	17	
円/米\$	105.0	110.9	105.0	109.0	105.0	
米\$/豪\$	0.780	0.745	0.780	0.725	0.780	

(2)上記市況を前提とした収支計画(連結)

	メインシナリオ					
	2018年度		2019年度		2020年度	
	中計	実績	中計	予想	中計	
売上(億円)	1,370	1,176	1,420	1,060	1,420	
営業利益(億円)	110.0	7.6	120.0	46.0	100.0	
経常利益(億円)	108.0	12.0	120.0	46.0	100.0	
当期利益(億円)	93.0	△23.8	105.0	30.0	80.0	
EBITDA(億円)	173.0	111.2	187.0	103.4	173.0	

IV. 資源事業個別プロジェクトの状況

1. エンデバー鋳山

- 現状、深部（Deep Zinc Lode）の状況は未確定で鋭意探査中。詳しい状況は、7月以降判明の見込み。
- 深部探査に集中するため、2019年は2018年度比76%減の15.7万tの粗鋳処理体制とする。
- Q2開発コスト（鋳業権）がA\$4.5百万、2018年末の探査権がA\$12.9百万あり、7月以降の深部探査状況によっては、これらの金額が2019年度の追加コストの対象となりうる。

2. 豪州西オーストラリア州Abra鉛鋳山

- 2019年4月に開発事業への参画に付き正式合意。
- 今後、最終的な経済性の評価を行ない、2019年後半を目途に本案件開発の判断と、開発に必要な金融機関融資の組成を行なう。

(参考資料)

1.主要製品の用途

主 な 用 途

亜鉛	亜鉛メッキ鋼板、一般メッキ、ダイカスト、伸銅品
鉛	バッテリー、電線、無機薬品、鉛管板
銀	フィルム、はんだ、メッキ
酸化亜鉛	ゴム（タイヤ）、フェライト、触媒
硫酸	化学肥料、合成繊維、化学工業薬品、石油精製
電子部品	産業機器、OA機器、車載電装品、パソコン
電子材料 《プレーティング》 《電解鉄》	接点およびコネクタ (携帯電話、デジタル機器、車載電装品) 特殊合金、超耐熱鋼、磁性材料、触媒

2.主要製品の売上の推移(連結)

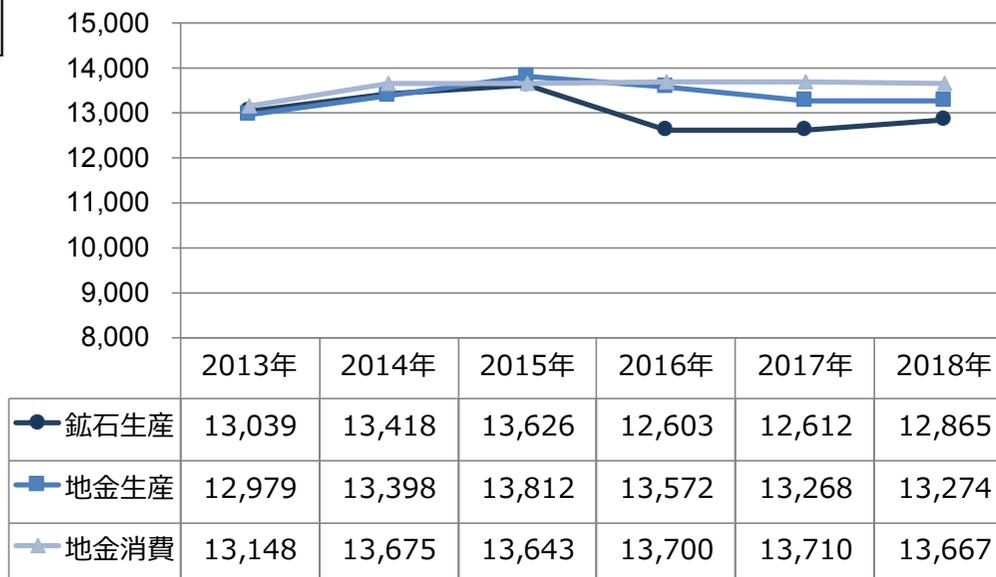
上段：数量(t) 下段：金額(百万円)

	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
亜鉛製品	115,149 25,478	99,303 27,209	91,897 23,653	103,180 30,100	104,519 38,813	99,608 34,115
鉛製品	90,833 22,942	86,600 22,656	92,384 23,071	104,896 26,749	93,005 27,960	87,174 24,077
電気銀	363 25,064	401 25,682	414 24,635	424 25,934	353 21,412	292 16,115
硫酸	1,637	1,537	1,451	1,358	1,434	1,596
鉱石販売等	14,085	18,853	18,154	9,128	20,174	20,545
電子部品	2,818	3,096	2,740	2,430	2,387	2,084
電子材料等	4,113	3,995	3,415	3,458	3,806	3,778
環境・リサイクル製品	4,921	5,978	4,638	4,528	5,386	4,699
防音建材	2,253	1,934	1,738	1,462	1,657	1,526
完成工事高	3,324	2,427	3,224	3,732	3,592	1,882
その他	11,978	7,721	7,420	5,069	7,005	7,135
合計	118,619	121,093	114,144	113,952	133,625	117,552

3.世界の亜鉛・鉛の需給推移

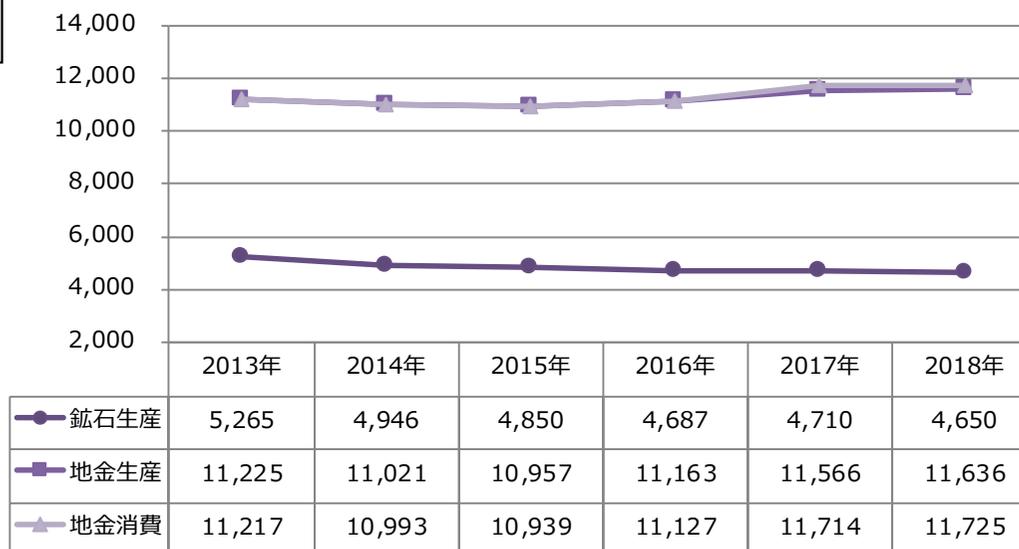
出典：日本鋳業協会

亜鉛（世界計）



単位：千t

鉛（世界計）

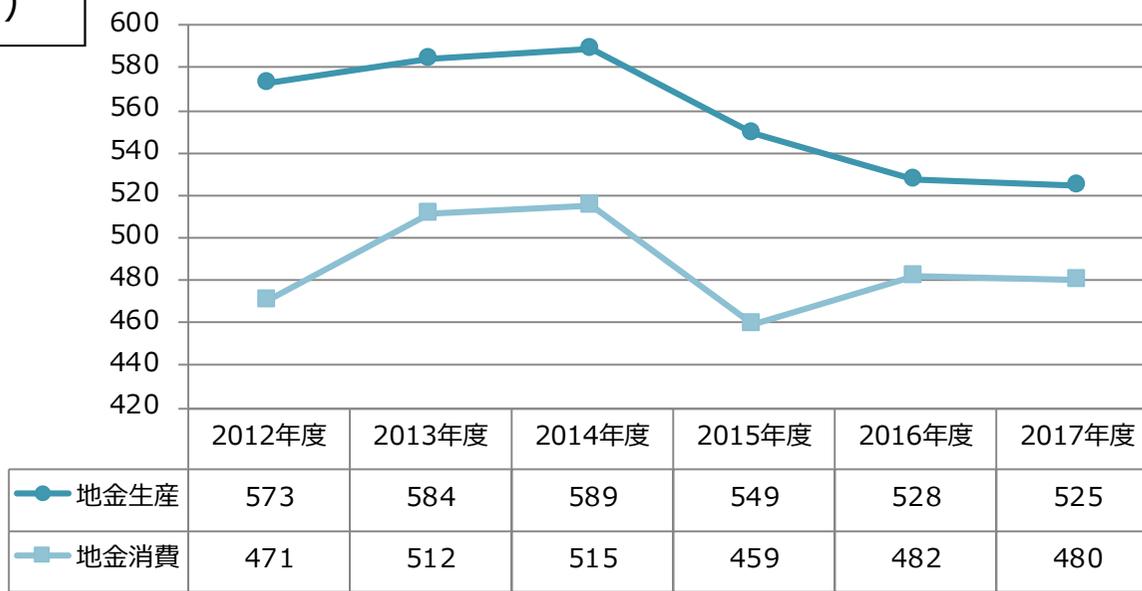


単位：千t

4.国内の亜鉛・鉛の需給推移

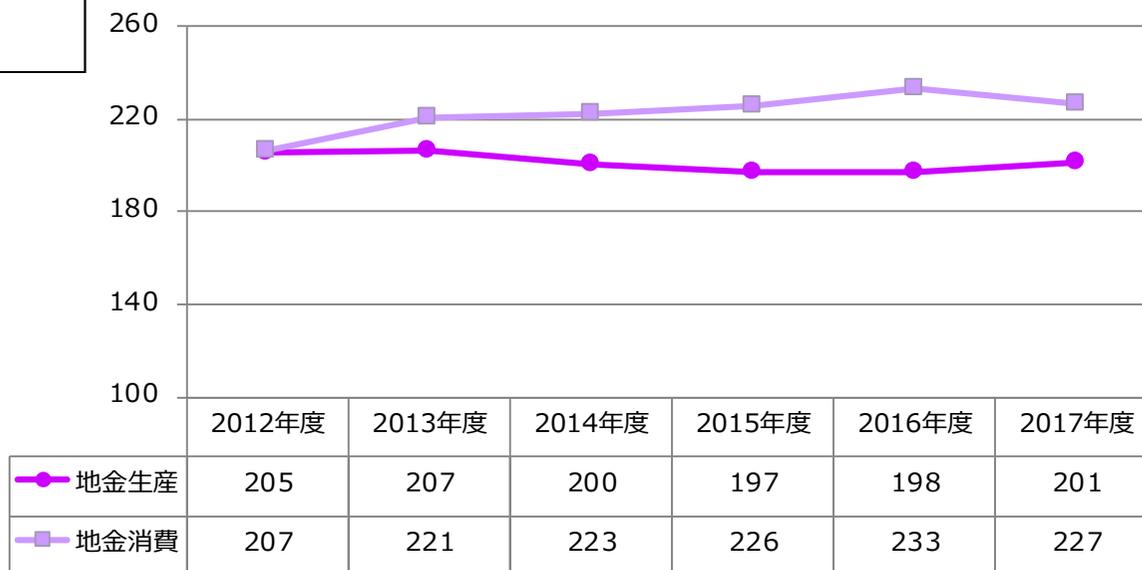
出典：経済産業省資源エネルギー庁

亜鉛（国内計）



単位:千t

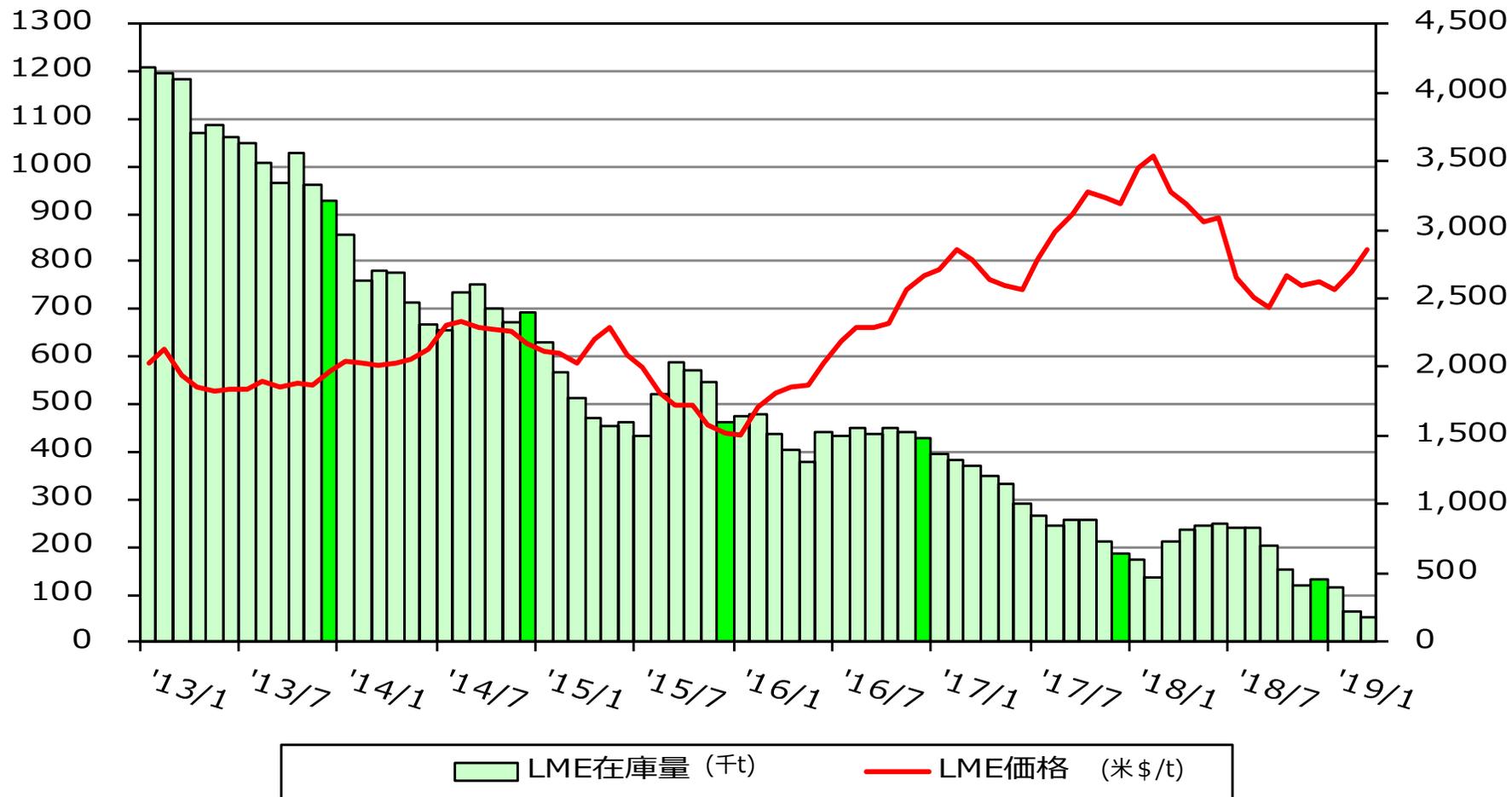
鉛（国内計）



単位:千t

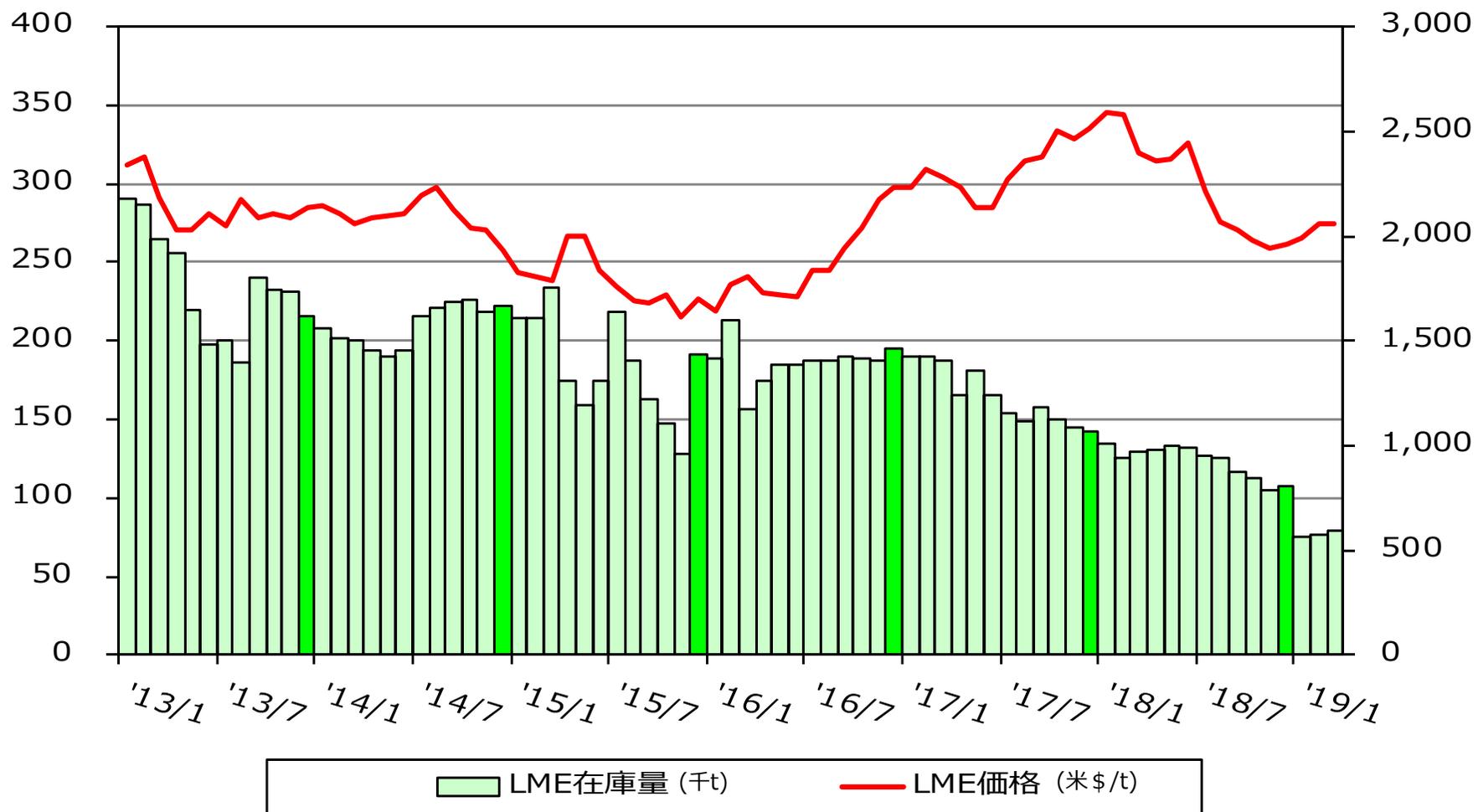
5.メタルの価格と在庫の推移

(1)亜鉛



5.メタルの価格と在庫の推移

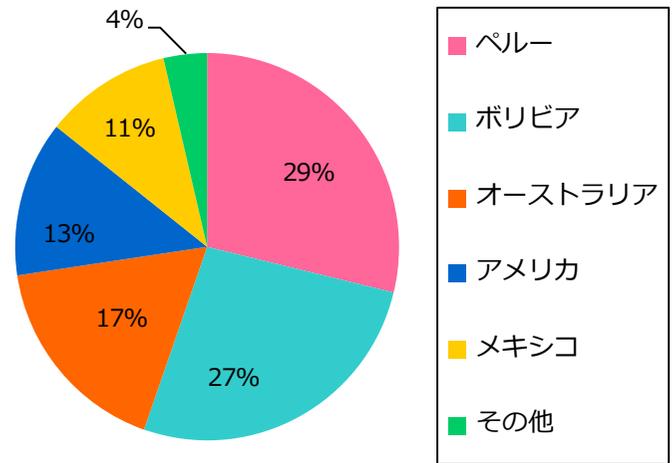
(2)鉛



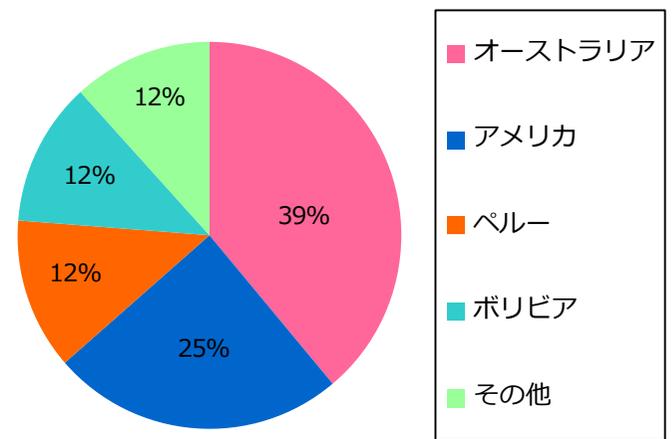
6.亜鉛・鉛の鉱石輸入と国内需要

出典：経済産業省資源エネルギー庁

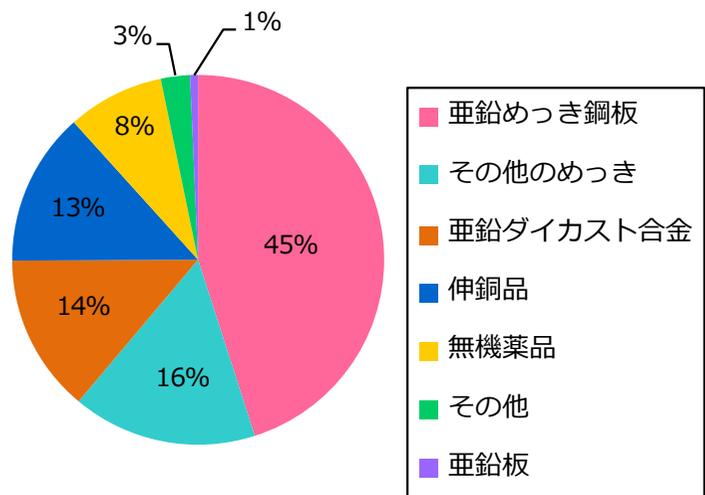
日本の亜鉛鉱石の輸入国



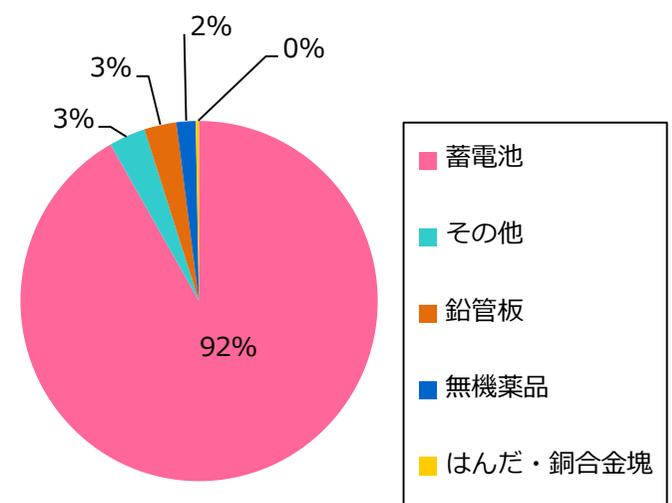
日本の鉛鉱石の輸入国



亜鉛の国内需要



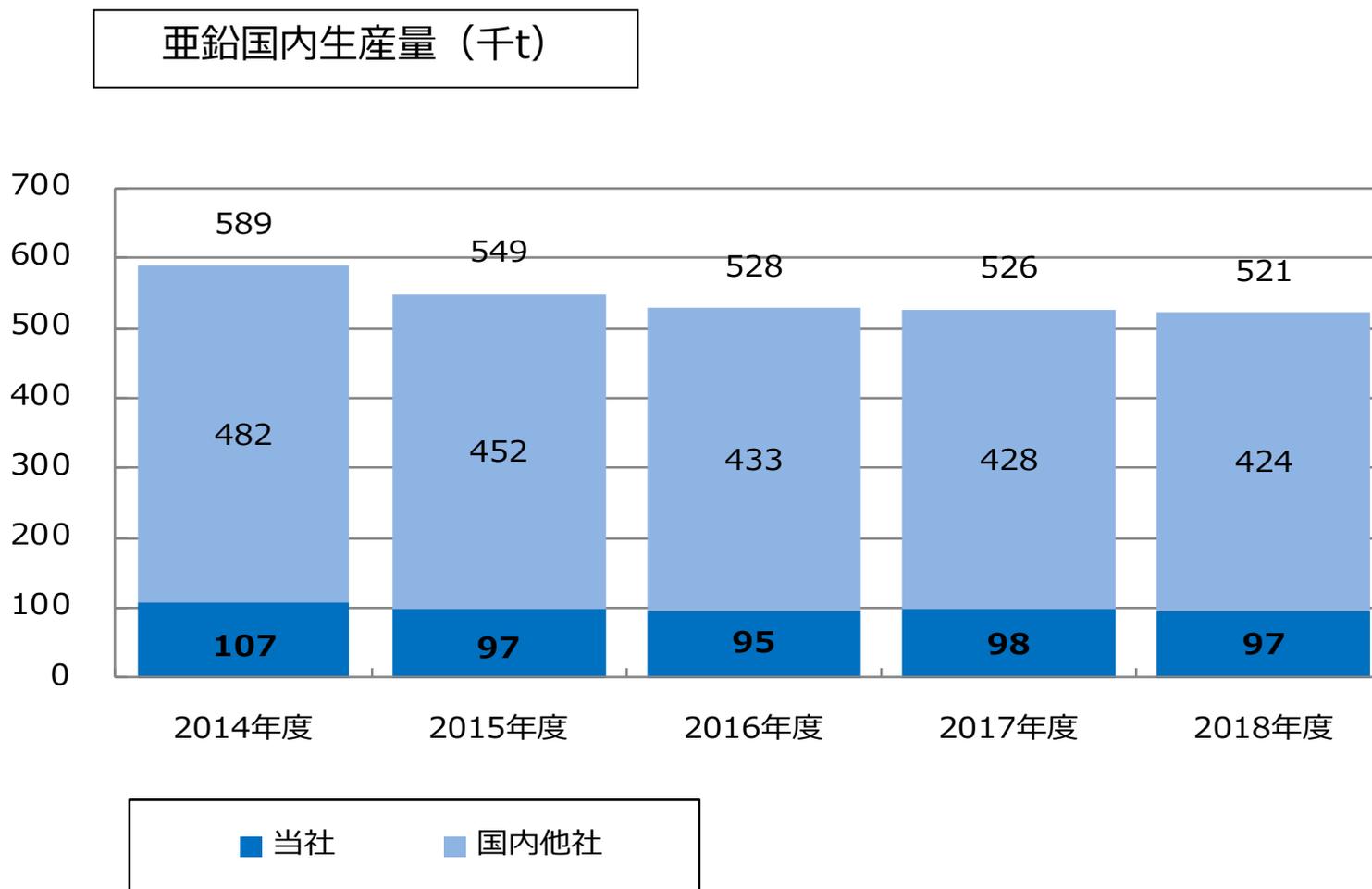
鉛の国内需要



7.製錬業界における当社の位置

(1)亜鉛

出典：経済産業省資源エネルギー庁



7.製錬業界における当社の位置

(2)鉛

出典：経済産業省資源エネルギー庁

